

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

耳川杉の匠人

グループの名称

耳川スギで住まいを創る会

直近採択グループ番号

06-0398-0787

(グループ代表者)

代表者名

濱田 卓侯

代表者印

代表者所属先

耳川広域森林組合

代表者所在地

宮崎県日向市東郷町山陰辛280番地1

代表者電話番号

0982-68-3515

(グループ事務局)

事務局事業者名

東九州プレカット事業協同組合

事務局担当者名

駒田 勤

印

事務局郵便番号

883-0062

事務局所在地

宮崎県日向市大字日知屋5514番地18

事務局電話番号

0982-53-8808

事務局FAX

0982-53-8809

事務局担当者E-mail

precut-hyuga-komada@bloom.ocn.ne.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		24	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	24	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		8	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		20	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	20	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
性能向上計画認定住宅		経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
性能向上計画認定住宅		未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		1	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	1	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸				
			上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸				
		その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸				
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟			
					0	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	採択された戸数を希望者で1戸目を配分。同様に繰返し最後に残った戸数が希望者を下回った場合は、抽選とする。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	20	戸	交付申請戸数	20	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	20	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)								
採択戸数	7	戸	交付申請戸数	5	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	5	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 耳川杉の匠人	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 耳川スギで住まいを創る会	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0398-0787	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	○地域材を利用した在来木造住宅とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○日差しを遮るため、原則として軒の出の長さを750mm以上とする。 ○台風対策として、垂木のサイズを45×75mm以上とする。 ○2階建住宅の柱直下率を50%以上とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	○スギの材色の良さや大径材を活かし、現しを見せる家づくりを進める。	◎
④①～③の背景	○本県は、高温多湿で日照時間、快晴日数も多いため、スギの成長が速く大径化が進んでいる。また、台風来襲も多い。 ○当地域のスギは、真円・通直で加工し易く製品の色合いも良く市場の評価も高い。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○管柱、通柱は4寸角以上の材とする。 ○垂木のサイズは、45×75mm以上とする。	◎
①-2 使用建材の統一	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○乾燥材の品質基準を定めている。	◎
②-1 建材・資材調達のコスト削減	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ○グループは、川上部会(原木供給、製材、木材流通)と川下部会(施工事業者、設計、住器等)の2部会制とする。 ○重要な課題については、専門部会、推進部会を設置する。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○各部会の課題に対する検討会及び研修会等に関する調整並びに事業推進に関する指導を行う。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○建材メーカー、流通グループ、施工事業者等で推進部会を設置し、規格、品質、設備工事等の共通仕様を作成する。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○川下部会で共通ルールのチェック表を作成し、確認書を事務局に提出する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○合法材、地域材が証明された木材並びに建材、住器等の品質、地域型の特徴等を説明し施工主へ提示する。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の取り組みを支援する。	○
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の取り組みを支援する。	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各構成員の取り組みを支援する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	建材、資材については、基本的に各施工事業者の独自性を優先しているため、グループ独自の共同化、統一化、合理化は行っていない。しかし、構成員同士が共同して統一化、合理化を進めている流れもあるため、事務局としては協力・支援して行く。	◎

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 耳川杉の匠人	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 耳川スギで住まいを創る会	(結成年) 2012 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0398-0787			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄履歴情報の			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局で施工事業者の邸別の住宅履歴管理表を作成し情報提供を行う。	◎	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○住宅履歴管理表で確認する。	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○住宅完成後、1年、3年後に水道関係者を交え自主的的点検を実施する。 ○住宅完成5年後シロアリ被害調査を実施する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○維持・管理についての勉強会を開催する。(情報サービス機関等による。)	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○維持管理について、グループの構成員を紹介する。	◎
		② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	住宅の維持、管理は、施工事業者の自主的な管理方針に基づき行われている。しかしながら、一部の構成員同士で組織化を図り住宅の補修やメンテナンス等についての勉強会、研修会を開催しているため、事務局としてもこれに協力・支援する。		◎
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○事務局及び経験者を中心として、未経験者のサポートを行うための研修会の開催(2回) ○技術の向上に関する研修会への参加及び情報提供を行う。	◎	
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○川上国会、川下部会で取り決めた仕様書による。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○設計者並びにプレカット(事務局)で確認する。	○	
	③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 52 今年度の参加目標人数 6	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	○	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ○地域の省エネ技術講習会への参加義務付け。(実施施工事業者) ○勉強会の開催	◎	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 耳川杉の匠人	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 耳川スギで住まいを創る会	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0398-0787	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	◎
	② グループ全体における地域材の需給予測	◎
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	◎
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	◎
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 耳川杉の匠人	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 宮崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 耳川スギで住まいを創る会	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0398-0787	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴</p> <p>※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <p>認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の地域材に関する事項は、長寿命型住宅と同様の共通ルールを適用する。 また、本県は、日射量が多い地域であるが、エネルギー消費率を太陽光発電システムばかりに頼らず、外壁、サッシ、ガラス等の躯体の一次エネルギー消費量を抑えるのを第一義とし高価な設備を装置した住宅より在来の木造住宅建築を活かした適正価格で普及し易い住宅に努める。</p> <p>1. 認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房のエネルギーを抑えるため、断熱サッシ、LowE硝子等を採用する。 ・照明、冷暖房、給湯機器は、一般的に普及しているものを採用する。 ・内装材、床等には、極力地域材を使用する。 <p>2. ゼロ・エネルギー住宅</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウレタンフォームの断熱材、アルミ樹脂複合サッシ等を使用し躯体の断熱を強化する。 ・高気密、高断熱の躯体を、効率よく計画換気を行うため、熱交換型第1種換気システム等を採用する。 <p>3. 優良建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・優良建築物については、特に環境に配慮した建物とし、地域材を利用した建築物のPRIに努める。 		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。